

# 都の風

MIYAKO NO KAZE

新春  
号

2013年 No.32

- 発行／都会メディカルケアシステム 渡辺 康介
- 編集／地域広報委員会 京都市北区大宮南田尻町59番地
- ホームページ／<http://www.miyakokai.or.jp/>
- お問い合わせ／info@miyakokai.or.jp

## 理念

- 患者様・ご利用者様の立場にたったキュア(医療)・ケア(介護)を提供いたします
- 医療・介護・福祉を通して地域、社会に貢献いたします
- 職員の質の向上をはかります

中村 ハナ様 満95歳  
生年月日 大正6年7月13日 北区在住

初春を迎えて（昨年1年を振り返る）  
**賀春**



医療法人 社団 都会

## 理事長

渡辺 康介

昨年1年を振り返るとこんなにある  
かと思うほど公私に亘り様々なことが  
ありました。

まず私事ではあります平成24年1月21日前理事長の母つまり私の義理の母が他界をいたしました。享年86歳でした。生前ご厚誼を頂きながら母の遺言のため特にご近所の方以外にはご通知はせず今日までしております。何卒ご容赦の程お願いいたします。また同じ頃実母のせん妄騒動がありましたが、皆さんのおかげで何とかほっこり庵で元気に過ごすことが出来るまでに回復しています。夏には次女の結婚がありましたがそれ以外は、なむなむと小さな出来事はいろいろとありながら毎日がすぎていきました。さて当法人にも様々な出来事がありました。一番はやはり4月の理事長交代でしょう。200人以上在籍するスタッフの事を考えると身の引き締まる思いがいたします。

一方政治のほうに目を向けると野田内閣の失態がいろいろとあります。特に日本と中国の関係がギクシャクなつていきました。尖閣をめぐる領土問題です。日々の生活には何の関係もないのですが、日本のナショナリズムを呼び起こさせる問題です。そうしてついに総選挙、自民党的の圧勝に終わり何年か前に見た光景が蘇ります。

(次ページに続く)

No.32

2012年9月8日、9日に十勝で開催された研修に参加させて頂きました。十勝は自然豊かで農業や牧場が盛んで、見渡す限り田んぼと牛や馬でいっぱいでした。そんな場所で在宅での看取りについて様々な報告会が行われ、私たち介護スタッフでも多くの事を学ばせて頂きました。もちろん看取りについての内容ばかりではなく、北海道の十勝の民芸やアーバンセラピー、お年寄り向けのマッサージなど多岐にわたり研修、講義が行われていました。

その中でも職員に向けたケアをどのようにするかといった講義が印象に残りました。簡単に説

はなく、北海道の十勝の民芸やアーバンセラピー、お年寄り向けのマッサージなど多岐にわたり研修、講義が行われていました。

その中でも職員に向けたケアをどのようにするかといった講義が印象に残りました。簡単に説

明をすると、看護師や介護士は肉体労働や精神労働だけではなく、感情労働があるという事でした。感情労働は自分の感情を抑えてケアをしていくため燃え尽き症候群になりやすくて、そういう為にはどのように工夫をしていく必要があるかといった講義でした。

私たち都会のスタッフはこのような研修を受けたり研修報告をすることで、他の方がされるケアを学びながら私たち自身も日々成長をさせて頂いています。

G.H.まつり庵 吉村祐貴

NPO在宅ケアを支える診療所・市民ネットワーク 第18回全国の集い in 高知2012

私は、平成24年9月16～17日の2日間、高知県で開催された研修に参加させて頂きました。高知県では現在、人口減少や高齢化が日本全体より10年早く進行しており、全国から注目されている地域と言われています。

「おらんく(土佐弁で自分の家)で自分らしくさじじまど」と題して、在宅ケアや認知症、看取りといった様々な内容の発表を聞くことができました。発表を聞かせて頂き、私は認知症ケアの重要性や看取りケアの大切さについて多くの事を学ばせて頂きました。

4人に1人が高齢者といつ今の社会において、

高齢者が自分の住み慣れた地域で自分らしく暮らすために必要な事は何なのか。大切にしなければならない事は何なのか。私達が高齢者やその家族の方と一緒に時間を過ごす事の尊さ。同じ地域で暮らす住民の方との連携の必要性について。といった事について改めて考えさせられる研修となりました。

今回学ばせて頂いた事をしっかりと心に留めて、日々のケアに活かせていくよう臨んでいきたいと思います。

ショートステイにしがも 佐藤 大輔

かねてから定員の関係上、利用申請を頂いても利用頂けない状態が慢性的しておりましたが、一人でも多くの利用希望者の「一ีーズにお応えできるよう、12月1日この床から10床のショートステイとして生まれ変わりました。

また、平成24年8月の食費設定の見直しに続き、少しでも利用し易いショートステイとなるよう、12月1日から滞在費(居室料)についても料金の見直しを行いました。在宅介護を支える員として皆様に安心して利用頂ける事業所となるよう邁進いたします。

今後とも指導頂きますよう宜しくお願い申上げます。



ショートステイ増床、料金見直しのお知らせ

## 研修報告

そうして私自身の健康について皆様方に大変ご心配とご迷惑をおかけすることになりました。ここに無事生還してきたことをご報告申上げます。10月1日PSA値が12・5と高値と判明、自覚症状なく前立腺癌を疑いながら母教室の京都府立医科大学泌尿器科三木教授の診断を仰ぐことに致しました。型の如く超音波検査、造影MRI検査、骨シンチ等受け最終一泊入院の上生検を致しました。結果は予想通り左尖部の前立腺癌でした。悪性度を示すグリッソンスコアで3+4=7で中等度の悪性度で、治療の選択は陽子線か前立腺全摘出術のいずれかです。基本固形癌は外科的摘出が望ましいとされます。そこで外科的治療を選びました。この間2ヶ月待つ身にはとっても長く感じられる時間でした。

12月3日全身麻酔下に小切開による前立腺全摘出術及びリンパ節郭清術が行われました。そして12月5日術後2日日のことです。まだ夢の中で、中村勘三郎さんが57歳の若さで旅立たれたとの報道を知りました。私より6歳若い歌舞伎界の綺羅星の逝去にただただ惜しい、若すぎると思わずにはおれませんでした。以前都の風で述べた如く、孫子の兵法「敵を知り己を知れば百戦して危うからず」との言葉を思い出しました。私にとっても初めての入院、初めての手術です。負け戦はしたくありません。いろいろありましたが、12月16日無事退院いたしました。この間家族は勿論のことスタッフ、御近所の方、患者さんに至るまで多くの励ましの言葉を頂き生きる勇気を頂きました。早期に退院出来たのも皆様のお陰でございます、本当に有り難うございます。この場を借りて御礼申し上げます。まだ尿失禁、創部痛あります。が、今回の経験を今後の医療に活かし患者さんに還元していくたいと存じます。最後になりましたが本年も前年に劣らずご鞭撻の程宜しくお願ひいたします。

(題字 渡辺房子様 書)

## 皆の共同作品です



## 一乗寺ほっこり庵

ただ今、作成中…



ほっこり庵

### 手作りカレンダー



毎月のカレンダー作りは西賀茂デイの恒例作業。  
折り紙や切り絵、色ぬり作業を経て約1ヶ月かけて完成する1枚です。



### 手作り日めくりカレンダー



これで今日の日付を  
聞かれても  
バッチリ答えられます♥

### 壁 紙



協同作業の貼り絵で出来た大きな壁紙はフロアを  
一気に季節で彩ります。

西賀茂デイサービス

### クリスマスプレゼント

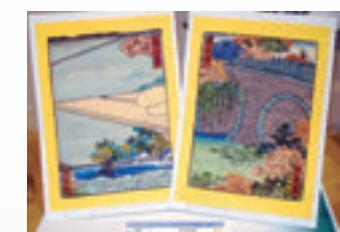
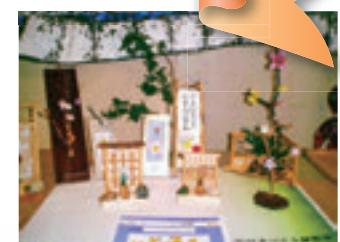


牛乳パックを  
フェルトで  
貼った長靴型の箱。  
ひとつひとつ  
手作業で作って頂き  
クリスマス会で  
プレゼントすると  
皆さん大喜び!!!

## 都会 展覧会

DSつるさんかめさんでは、利用者さんの作品をキタオオジタウンで開催された「みんなの手作り展覧会」に出展しました。

開催期間中に利用者さんと一緒に見学に行き、作品の前でパチリ記念写真を撮りました。



利用者さんと拾ったどんぐりで作ったキーホルダー

かわいいリースができました



冬の風物詩 おいしい干し柿の  
出来上がり お味はどうでしょうか?



デイサービスセンターツルさんかめさん

